

## 衛生センター整備事業に係る経過報告について

市民環境部

本市のし尿処理施設である君津市衛生センターは、昭和48年の供用開始から47年が経過しており老朽化しているため、新たな施設の整備を行うこととし、令和4年4月の新施設稼働開始に向け取り組んでいるところである。

令和元年度に実施した総合評価一般競争入札の結果を踏まえ、三井E&S環境エンジニアリング株式会社と、令和2年3月19日に工事請負契約を締結した。

契約締結後、本体工事に向け設計協議を重ね、11月下旬より本体工事に着手することから、これまでの経過を報告するものである。

### 1 整備工事の概要

(1) 施工業者

三井E&S環境エンジニアリング株式会社

(2) 契約金額

35億6,400万円（税込み）

(3) 工期

令和2年3月23日から令和5年3月31日まで（解体工事等を含む）

※新施設稼働は令和4年4月1日を予定している。

(4) 発注方式

設計・施工一括発注方式（DB方式）

### 2 整備工事の進捗状況

項目	令和2年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地質調査	■											
設計業務		■	■	■	■	■	■	■	■			
仮設工事						■	■					
先行解体						■	■					
建築工事								■	■	■	■	■
付帯工事							■	■	■			

### (1) 設計業務

令和元年度に実施した総合評価一般競争入札にあたり、施工業者から提出された技術提案書を基に、月例会議や分科会（※）を通じ、設計内容が要求水準や各種法令・基準に適合したものになっているか確認するとともに、省エネやユニバーサルデザイン等について検討を行った。

8月31日に、国土交通省の指定確認検査機関であるJ C I Aに建築確認申請を行い、9月7日に確認済証の交付を受けた。

現在は、建物の詳細設計を進めるとともに、設備機器の仕様等について協議を行っているところである。

なお、現時点における全体配置図及び平面図は、別紙のとおりである。

※分科会とは、土建・機械プラント・電気設備などそれぞれの分野における技術者等による専門会議のこと。

### (2) 工事の着手

本体工事の着手にあたり、新設工事に干渉する倉庫等の先行解体、薬品タンクの移設及び新築建屋廻りの地盤改良等を行い、11月下旬に本体工事に着手する。本体工事は令和4年1月に完成する予定で、試運転、性能試験及び千葉県による検査を経て、令和4年4月の稼働を見込んでいる。

## 3 地元企業の活用

整備工事は、設計、土木・建築、プラント機械設備、電気設備、既設解体、構内整備工事と多岐にわたることから、各工種に地元企業を採用するとともに、工事関係者の消費活動による地元貢献を行うこととしている。

